

1. 教育計画

母性看護学

分野	専門分野 母性看護学	科目名	命を育むことを追究しよう
単位・時間	1 単位・30 時間	対象学年	4 年生
方法	講義	時期	前期
講師名 (担当授業時間数)	専任教員 秋元 未来 (18 時間) 財団講師 櫻井 志保 (2 時間) 外部講師 大橋 美貴 (6 時間) 外部講師 相樂 育美 (2 時間)		
講師の実務経験	秋元：助産師として他病院に 8 年 5 カ月、星総合病院に 5 年 5 カ月		
学習目標	妊娠・分娩・産褥期にある対象をアセスメントする能力を身につけ、対象の健康の保持増進に必要な援助技術を学ぶ。また、周産期にある対象を継続的に支援していくことの必要性を学ぶ。		
成績評価方法	筆記試験		
使用テキスト	医学書院：母性看護学概論 母性看護学各論 インターメディカ：写真でわかる母性看護技術 照林社：パーフェクト臨床実習ガイド（母性看護学）		
参考文献	医歯薬出版：ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程		
履修上の留意	<ul style="list-style-type: none"> 提出物は提出期限を厳守すること。 受験資格：規定時間の講義への出席 		
教員からの メッセージ	母性看護学の実習へ向けて、対象への看護・技術について学びましょう！ また、切れ目なく対象を支援していくために「地域」と「臨床」を繋いでいく必要性とそこに関わる職種の役割を理解しましょう。		

2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	担当者
1	2	周産期における アセスメント	妊娠期・分娩期の看護	講義	秋元
2	2		産褥期・新生児期の看護	講義	
3	2		特定妊婦について	講義	
4	2		看護過程①	講義	
5	2		看護過程②	講義	
6	2		看護過程③	講義	
7	2	母性看護技術	母性看護技術①	講義	秋元
8	2		母性看護技術②	講義	
9	2		母性看護技術③	講義	
10	2	多職種連携	特定妊婦の現状と地域連携の実際について	講義	櫻井

11	4	マタニティビクス	マタニティビクスの実際	講義	大橋
12				演習	
13	2	アフタービクス	アフタービクスの実際	演習	
14	2	地域での助産活動	地域での助産師の活動内容、地域で求められている役割、病院・行政との連携の実際など	講義	相樂
15	2	評価	筆記試験		秋元